

Corporate Social Responsibility

環境経営レポート

対象期間 2024年4月～2025年3月

環境・地球 21世紀の創造企業



ミクニ ニッコー・フジテクノロジー株式会社

発行日 2025年9月



目 次

1. 事業概要	P 2
2. 環境経営方針(第7版)	P 3
3. 情報セキュリティ方針	P 3
4. 委員会体制図	P 4
5. 社内組織図	P 4
6. 職務分掌	P 4
7. 許可一覧	P 5
	P 6
8. 産業廃棄物処理施設概要	P 7
	P 8
9. 積替え保管施設	P 9
10. 廃棄物フロー図	P 10
11. 産業廃棄物の実績	P 11
12. SDGsへの取り組み	P 12
13. 環境目標・実施結果、CO ₂ 排出抑制・廃棄物の再資源化活動	P 13
14. 環境負荷実績	P 14
15. CO ₂ 排出抑制・廃棄物の再資源化活動	P 15
16. 廃棄物の再資源化活動	P 15
17. 社内活動	P 16
	P 17
18. 2023年度法遵守状況	P 18
19. 代表者による評価及び見直し結果	P 19



1. 事業概要

[会社所在地] 岩手県一関市千厩町奥玉字天ヶ森 75-6

TEL.0191-56-2601 (代) FAX.0191-56-2619

[代表者] 代表取締役 小野寺 真澄

[事業内容] 産業廃棄物処理業、一般廃棄物処理業、貴金属の再生及び販売、化学薬品の販売、

一般貨物自動車運送事業、再資源リサイクル業、小型家電リサイクル業、宝飾品の加工販売、古物商

[認証登録範囲] 全事業活動、全従業員対象

[創業] 昭和 50 年 1 月 15 日

[資本金] 1000 万円

[会社設立] 昭和 55 年 1 月 14 日

[売上高] 1,874 百万円

[従業員数] 94 名

[本社及び工場敷地・建物]

事務所 敷地面積 1,958.72m²

事務所 建築面積 390.12m²

第 1 工場 敷地面積 1,628.31m²

第 1 工場 建築面積 415.17m²

第 2 工場 敷地面積 2,757.05m²

第 2 工場 建築面積 678.18m²

第 3 工場 敷地面積 10,170.00m²

第 3 工場 建築面積 1,239.13m²

第 4 工場 建築面積 880.00m²

第 4 保管施設 敷地面積 226.41m²

第 4 保管施設 建築面積 39.64m²

[主要設備]

焼却炉 3 基

電解機 6 台

精錬炉 3 基

破碎機 3 台

移動式破碎機 1 台

中和処理施設 一式

原子吸光分析装置 1 台

(計量証明事業 第 119 号 濃度)

トラックスケール 40t 1 台

(計量証明事業 第 118 号 質量)

センサー選別機 1 台

ICP 発光分光分析装置 1 台

フーリエ変換赤外分光度計 1 台

車輛 62 台

タンクローリー	4 台	平ボディー	2 台	箱型 3t	3 台
大型フックロール	2 台	大型ダンプ	3 台	冷蔵冷凍車	13 台
増 ^t フックロール (ヒアブ 1 台含む)	5 台	13t ウイング車	2 台	営業車	9 台
フックロール	4 台	7t ウイング車	1 台	フォークリフト	5 台
ユニック車	4 台	3t ウイング車	1 台	ショベルカー	1 台
		パッカー車	3 台		



2. 環境経営方針(第7版)

基本理念

ニッコー・ファインメック株式会社は、「環境先進企業」と「地域共生」を目指し、事業活動を通じて持続的な循環型社会形成に貢献し、継続的な環境保全活動に取り組みます。人や環境に対する負荷を軽減し、常に今ある資源を最大限に活かしたリサイクルサービスを提供します。

基本方針

- 1** 省資源・省エネルギー、資源有効利用の推進、廃棄物の削減、汚染の予防を図り、環境の維持向上に努めます。
- 2** 環境関連法規制や条例、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 3** 環境マネジメントシステムを構築し、環境目的・目標を定め実行し、定期的な見直しを行いながら継続的な改善を図ります。
- 4** ひとつひとつのリサイクル課題を自分事として丁寧に寄り添い、今できる最大限を提案することで、時代の潮流を捉えた新たなリサイクルサービスを提供できる企業を目指します。
- 5** 社員及び関係者に、環境に対する教育・啓蒙を積極的に行います。

行動指針

- 1** 産業廃棄物の収集運搬と中間処理における事故の未然防止に努めるよう、安全管理に取り組みます。
- 2** 生産性の向上、環境効率を高めるために、効率的物流・効率的業務に取り組みます。
- 3** 受託した産業廃棄物は適正に処理します。また、廃棄物のリサイクル技術向上に向けて惜しまず努力します。
- 4** お客様の価値・課題と向き合い、信頼性と満足度の向上を目指します。
- 5** 社員各自が環境への高い意識を持ち続け、環境に関する知識を深めるとともに日常生活においても、環境負荷の低減や自然環境の保全に配慮して行動します。
- 6** 消耗品や備品にも環境対応に着目し、環境負荷の少ない製品・サービスを優先するようグリーン調達を推進します。
- 7** 地域の自然と環境維持のため、美化活動と社会貢献活動を継続的、積極的に行います。

この環境経営方針を、社員・役員に周知すると共に、一般にも公開します。

2020年6月5日

ニッコー・ファインメック株式会社 代表取締役社長
小野寺 真澄

3. 情報セキュリティ方針

当社は情報化社会の一員として、社会からの高い信頼にお応えするため、情報資産の重要性を認識し、各種の脅威から情報資産を適切に保護するため、情報セキュリティ基本方針を定め、体制を整備し、その管理・運用の一層の向上を図ることを宣言します。

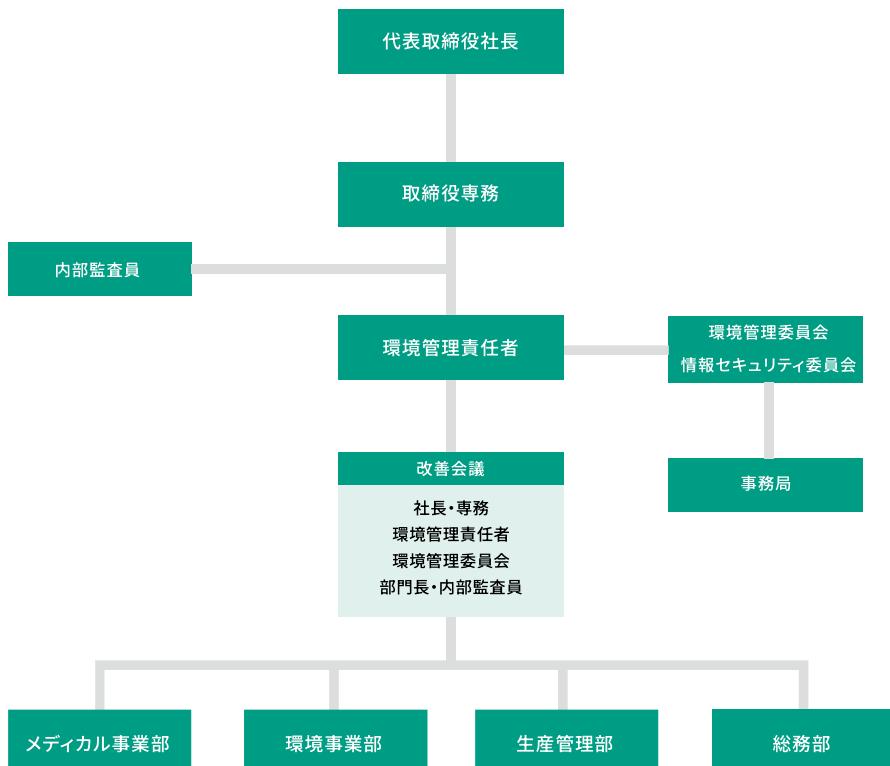
- 1** 情報セキュリティ方針に従い、マネジメントシステムを確立し、事件や事故の発生を防ぐよう努めます。
- 2** 情報セキュリティマネジメントの効率的な運営を行うため、運営組織を設け、運用状況を監視し、維持し、継続的な改善を行い、適正な活動を維持します。
- 3** 全従業員と関係者に対し、情報セキュリティの確保に必要な教育を実施します。
- 4** 全従業員と関係者は、情報管理規程に基づいて、機密情報の取り扱いに厳重な注意を払います。

2019年11月1日

ニッコー・ファインメック株式会社 代表取締役社長
小野寺 真澄



4. 委員会体制図



6. 職務分掌

メディカル事業部

部長 → 営業次長 → 営業係長

- ・広域的な廃棄物のルート回収(東北6県)
- ・医療系廃棄物の営業及び収集運搬
- ・貴金属リサイクルに関する営業及び回収
- ・機密書類、パソコン、医療機器等、他
- ・医療系廃棄物
- ・小型家電

環境事業部

環境事業部長 → ロジスティクス課課長 → 営業課次長

- | | |
|----------|----------------|
| ロジスティクス課 | ・一般貨物自動車運送業 |
| | ・工業系廃棄物の収集運搬 |
| 営業課 | ・工業系廃棄物、PC等の営業 |

生産管理部

生産部長 → 生産課長 → 生産係長

- | | |
|------|-------------------------|
| 生産一課 | ・貴金属の湿式回収、分析精製及び製造 |
| | ・廃プラスチック類(X線フィルム)の焼却業務 |
| | ・廃液の中間処理(中和)業務 |
| | ・石こうの破碎 |
| 生産二課 | ・パソコン等素材混合機器のリサイクル、リユース |
| | ・中間処理(破碎)業務 |
| | ・小型家の再資源化 |
| | ・電池の中間処理(選別) ・フロン回収 |

総務部

総務課長

- ・庶務実務・産業廃棄物管理票管理票の管理
- ・許認可申請・契約書管理・売掛請求業務
- ・採用、人材育成
- ・計画立案
- ・各種規定の管理・改正
- ・対外的な対応業務
- ・その他社内外に関わる管理業務

経理人事課

経理課長

- ・経理実務
- ・社会保険、労働保険実務
- ・給与計算

BPR推進室

- ・社内業務の改善検討・提案
- ・社内DX推進業務

システム担当

- システム担当
- ・社内システムの改善検討、運用、設計、構築
 - ・パソコン、スマホ等の管理
 - ・ホームページ、クラウドサービス等の運用および管理

宝飾

宝飾担当

- ・修理加工業務
- ・地金、コイン等販売・買取



7. 許可一覧

●産業廃棄物

行政区域 許可番号	許可年月日 有効期限	優良認定	廃プラ	木くず	がれき類	コンクリートくず 及び陶磁器くず	ガラスくず	金属くず	汚泥	燃えがら	紙くず	繊維くず	ゴムくず	鉛さい	廃油	廃酸	廃アルカリ	ばいじん	動植物性残さ
岩手県 00314003174	2024/5/8 2031/5/7	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
青森県 00201003174	2022/11/2 2029/11/1	●	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
秋田県 00504003174	2023/5/1 2030/4/12	●	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
宮城県 00400003174	2024/2/1 2031/1/31	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
山形県 0609003174	2023/9/27 2030/9/3	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
福島県 00707003174	2025/3/12 2032/2/7	●	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
収集運搬	茨城県 00801003174	-	○			○	○	○							○	○	○		
	栃木県 00900003174	-	○			○	○	○						○	○	○	○		
	東京都 1300003174	-	○			○	○	○	○	○				○	○	○	○		
	埼玉県 01100003174	-	○			○	○	○	○	○				○	○	○	○		
	千葉県 01200003174	-	○			○	○	○	○	○				○	○	○	○		
	群馬県 01000003174	-	○			○	○	○	○	○				○	○	○	○		
	神奈川県 01400003174	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	岐阜県 02100003174	-					○						○		○	○	○		
処分	岩手県 00324003174	2024/5/8 2031/5/7	焼却	○															
			切断	○	○		○	○											
			選別	○				○	○										
			中和													○	○		
			電解													○			
			破碎	○	○		○	○											
	盛岡市 11021003174	2023/9/25 2028/9/24	破碎	●	○		○	○											





7. 許可一覧

●特別管理産業廃棄物

行政区域 許可番号	許可年月日 有効期限	優良認定	汚泥	燃えがら	廃油	廃酸	廃アルカリ	ばいじん	ビフェニル等	ビフェニル塩化物	感染性	廃水銀等
収集運搬	岩手県 00364003174	2020/8/2 2027/8/1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	青森県 00251003174	2022/7/11 2029/6/28	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
	秋田県 00554003174	2022/6/10 2029/6/9	●	○		○	○	○		○	○	
	富山県 00450003174	2022/7/1 2029/6/30	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
	山形県 00659003174	2022/6/3 2029/5/19	●	○		○	○	○		○	○	
	福島県 00757003174	2022/6/27 2029/6/14	●	○		○	○	○				○
	茨城県 00851003174	2021/5/25 2026/5/24	-	○		○	○	○				
	栃木県 00950003174	2021/5/10 2026/5/9	-	○		○	○	○				
	東京都 1350003174	2022/10/28 2027/10/27	-	○	○	○	○	○			○	
	埼玉県 01150003174	2024/09/25 2029/09/24	-	○		○	○	○			○	
	千葉県 01250003174	2022/10/27 2027/10/26	-	○		○	○	○				
	群馬県 01050003174	2022/11/14 2027/11/13	-	○		○	○	○				
	神奈川県 01450003174	2024/6/18 2029/6/17	-	○		○	○	○			○	
	岐阜県 02150003174	2024/07/08 2029/07/07	-			○	○					
処分	岩手県 00374003174	2020/8/2 2027/8/1	中和	●								





8. 産業廃棄物処理施設概要

焼却 設置場所:一関市千厩町奥玉字天ヶ森75-6



処理方法
焼却
処理方式
固定床炉
稼働時間
8:10～17:30
処理能力
600kg/日
廃棄物の種類
廃プラスチック類

電解 設置場所:一関市千厩町奥玉字天ヶ森75-6



処理方法
電解
処理方式
自動電解(循環式、バッチ式)
稼働時間
24時間
処理能力
2,350L/日
廃棄物の種類
廃酸

中和 設置場所:一関市千厩町奥玉字天ヶ森75-6



処理方法
中和
処理方式
薬注式中和処理
稼働時間
8:10～17:30
処理能力
24,000L/日
廃棄物の種類
廃酸・廃アルカリ 特管廃酸・特管アルカリ

切断 設置場所:一関市千厩町奥玉字天ヶ森56-1、56-2、56-3、62、69、76



処理方法
切断
処理方式
油圧開閉式
稼働時間
8:10～17:30
処理能力
11.36t/日
廃棄物の種類
廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず

破碎 I 設置場所:一関市千厩町奥玉字入山沢329-1



処理方法
破碎
処理方式
横型切断式
稼働時間
8:10～17:30
処理能力
1,440kg/日
廃棄物の種類
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず

電池選別 設置場所:一関市千厩町奥玉字天ヶ森34、56-2、62、68-1及び86-1



処理方法
選別
処理方式
振動方式
稼働時間
8:10～17:30
処理能力
6.8t/日
廃棄物の種類
汚泥、廃プラスチック類、金属くず(廃乾電池に限る)





8. 産業廃棄物処理施設概要

破碎 II 設置場所:一関市千厩町奥玉字天ヶ森34、56-2、62、68-1及び86-1



処理方法
破碎
処理方式
堅型スイングハンマ式
稼働時間
8:10～17:30
処理能力
4.8t/日
廃棄物の種類
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、木くず

光学式選別機、トラックスケール



破碎 III 設置場所:一関市千厩町奥玉字天ヶ森34、56-2、62、68-1及び86-1



処理方法
破碎
処理方式
せん断式四軸破碎
稼働時間
8:10～17:30
処理能力
廃プラスチック類 11.21t/日 木くず 15.2t/日 金属くず 12.8t/日 ガラスくず 14.4t/日
廃棄物の種類
廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、これらの混合物

移動式破碎



処理方法
破碎
処理方式
二軸破碎
稼働時間
8:10～17:30
処理能力
廃プラスチック類 120.0kg/日 金属くず 1440.0kg/日 ガラスくず 34.4kg/日
廃棄物の種類
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず





9. 積替え保管施設

第一工場 所在地:岩手県一関市千厩町奥玉字天ヶ森75番6

廃棄物の種類	産業廃棄物		特別管理産業廃棄物	
	保管面積(m ²)	保管容量(m ³)	保管面積(m ²)	保管容量(m ³)
廃アルカリ	5.9	2.0	5.9	3.0

第二工場 所在地:岩手県一関市千厩町奥玉字入山沢329番1

廃棄物の種類	産業廃棄物		特別管理産業廃棄物	
	保管面積(m ²)	保管容量(m ³)	保管面積(m ²)	保管容量(m ³)
廃 酸	6.10	3.60	6.97	4.38
廃 酸(水銀含有ばいじん等を含む。)	0.87	0.78	—	—
廃アルカリ	2.70	1.80	3.57	2.58
廃アルカリ(水銀含有ばいじん等を含む。)	0.87	0.78	—	—
汚 泥	13.50	16.00	4.56	4.40
汚 泥(水銀含有ばいじん等を含む。)	0.81	0.40	—	—
汚 泥(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	0.40	0.08	—	—
金属くず	1.50	2.00	—	—
金属くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	0.40	0.08	—	—
ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず	1.50	0.96	—	—
廃プラスチック類	17.50	22.00	—	—
廃乾電池(金属くず及び汚泥の混合物。水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	0.48	0.20	—	—
廃乾電池及びバッテリー(金属くず、廃プラスチック類及び汚泥の混合物。)	0.48	0.20	—	—
廃蛍光管(金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず及び廃プラスチック類の混合物。水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	6.49	6.40	—	—
LED及び白熱灯(金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず及び廃プラスチック類の混合物。)	2.75	2.85	—	—
血圧計及び体温計(金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず及び廃プラスチック類の混合物。水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	0.63	0.24	—	—
感染性産業廃棄物	—	—	24.30	40.90
廃水銀等	—	—	0.81	0.045

第三工場 所在地:岩手県一関市千厩町奥玉字天ヶ森34番、56番2、62番、68番1、86番1

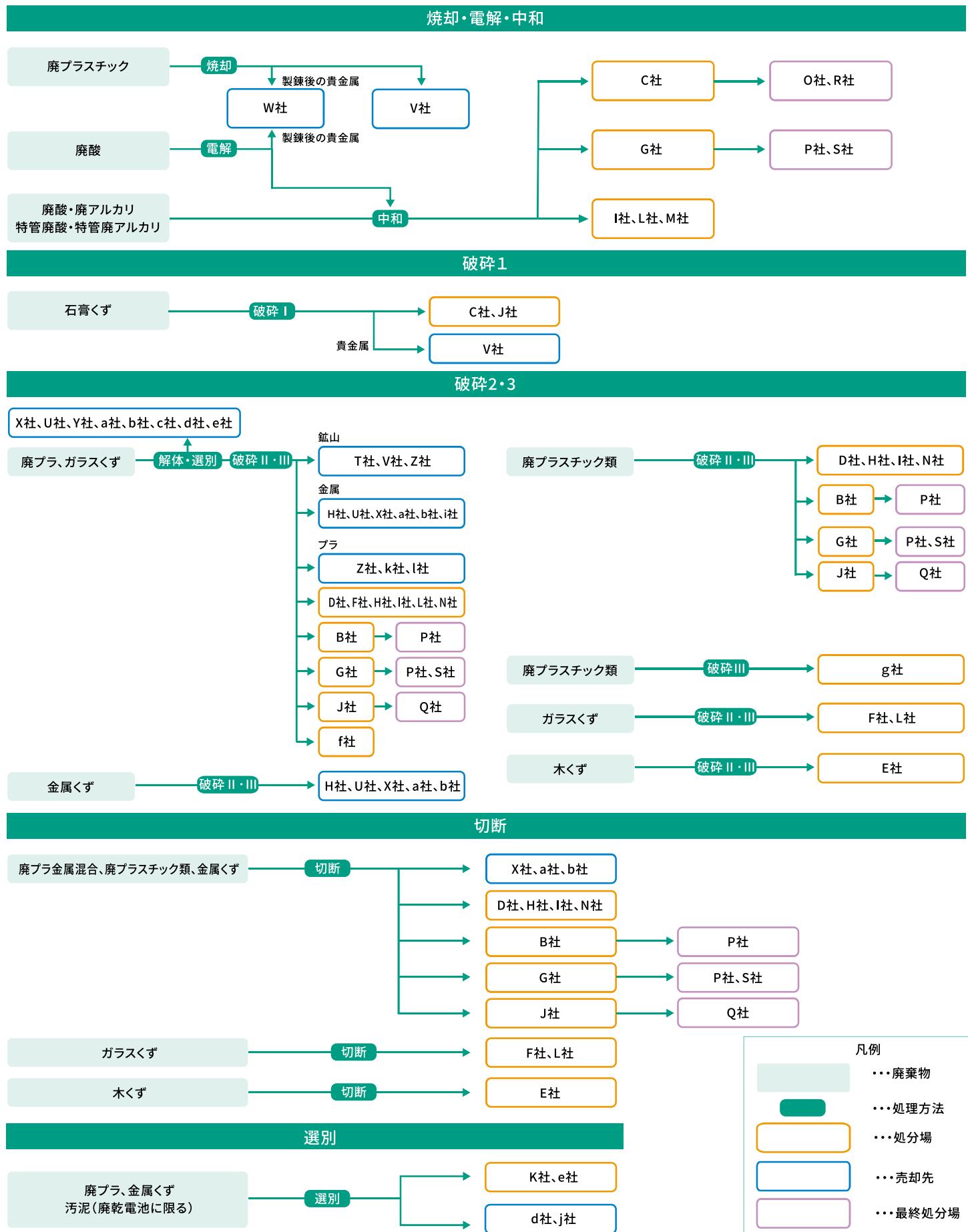
廃棄物の種類	産業廃棄物		特別管理産業廃棄物	
	保管面積(m ²)	保管容量(m ³)	保管面積(m ²)	保管容量(m ³)
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	62.40	104.00	—	—
廃 油	8.20	2.00	10.50	4.40

第四保管施設 所在地:岩手県一関市千厩町奥玉字入山沢331番4、331番5

廃棄物の種類	産業廃棄物		特別管理産業廃棄物	
	保管面積(m ²)	保管容量(m ³)	保管面積(m ²)	保管容量(m ³)
燃え殻	11.70	12.00	—	—
廃プラスチック類	46.80	48.00	—	—
ゴムくず	11.70	12.00	—	—
金属くず	11.00	12.00	—	—
木くず	11.00	12.00	—	—
鉱さい	11.70	12.00	—	—
繊維くず	17.80	12.00	—	—



10. 廃棄物フロー図





11. 産業廃棄物の実績

運搬量

産業廃棄物

運搬物の種類	運搬量(t)
燃え殻	16.68
汚泥	3,427.72
廃油	236.47
廃酸	268.00
廃アルカリ	620.44
廃プラスチック類	2,956.61
紙くず	136.7
木くず	59.36
動植物性残さ	53.37
繊維くず	0.00

運搬物の種類	運搬量(t)
ゴムくず	0.00
鉱さい	1,576.59
金属くず	74.64
ガラスくず・コンクリートくず、及び陶磁器くず	276.64
がれき類	19.70
廃プラ・金属の混合、廃プラ・金属・ガラスの混合	778.95
金属くず・汚泥の混合(乾電池等)	6.98
金属・ガラスの混合(蛍光管等)	18.79
合計	10,527.64

特別管理産業廃棄物

運搬物の種類	運搬量(t)
廃油	160.74
廃酸	1,806.75
廃アルカリ	2,082.13
感染性産業廃棄物	1,937.33

運搬物の種類	運搬量(t)
汚泥	9.70
ばいじん	591.06
廃PCB等・PCB汚染物	7.70
合計	6,595.41

処分量

産業廃棄物

処分物の種類	処分量(t)
廃酸	261.83
廃アルカリ	484.86
廃プラスチック類 ※焼却	2.11
廃プラスチック類 ※破碎・切断	1,024.20
金属くず	1.02
ガラスくず・コンクリートくず、及び陶磁器くず	0.71
廃プラスチック類・ガラスくず・金属くず又はその混合物	288.82
金属くず・汚泥(電池類)	4.20
木くず	1.80
合計	2,069.55

特別管理産業廃棄物

処分物の種類	処分量(t)
廃酸	104.47
廃アルカリ	61.32
合計	165.79

小型家電

処分物の種類	処分量(t)
小型家電(産廃小電含む)	722.32
合計	722.32





12. SDGsへの取り組み

SDGsにおいて重点的に取り組む目標

ニッコー・ファインメック株式会社は国連によって採択された「持続可能な2030年までの開発目標SDGs」に賛同し、環境方針で定める行動指針に則り、特に次の3項目において重点的に取り組むことを宣言します。



活動目標と実績、2024年度実施結果



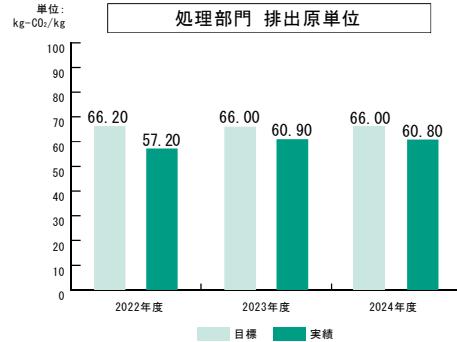
二酸化炭素削減 (排出原単位削減)



処理部門については、電力消費の大きな2基の破碎機の処理品目の組み合わせを調整する事で電力の平準化を達成した他、作業効率改善によりCO₂排出量を削減し、原単位を改善する事ができました。運搬部門については、通常の往復路に新たな回収ポイントを設け、空車走行を削減することで運搬効率が向上しましたが、一部の長距離便の帰り荷を確保できなかったことで運搬効率が悪化。目標達成とはなりませんでした。

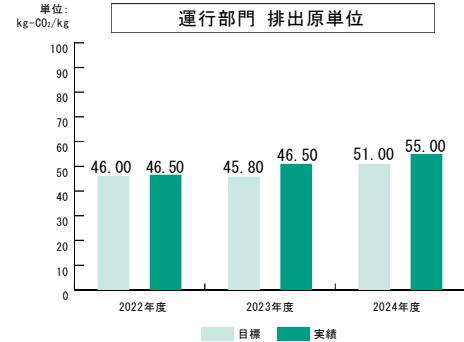
生産管理部

処理量1tあたりのCO₂排出量の削減、 作業効率の改善



営業管理部 環境リサイクル部

運搬量1tあたりのCO₂排出量の削減、 運搬効率の向上



收集運搬事故ゼロ



2024年:4件
2023年:4件



適正処理・リサイクル推進



2024年:96%
2023年:97%

收集運搬事故ゼロ

前年度と事故件数は変わらず、目標の0件には至りませんでした。内容は接触事故、物損事故でした。対策としても、全体朝礼で事故の報告、注意喚起、乗務する際の心構えを周知することで気を引き締めています。また、訓練を定期的に行い、客先ごとの危険個所を共有し、事故の未然防止に務めています。

前年度以上の再資源化

自社排出量の80%以上をリサイクル可能な処分場へ搬入を推進しております。2024年度は約96%と前年より1%再資源化率が低下しましたが、再資源化量としては前年比で282t増加しています。



省資源への取り組み



2024年:729kg
2023年:949kg



環境教育年3回以上



2024年:3回
2023:3回

コピー用紙購入量の削減

前年度よりも220Kg削減することができました。大部分の社内届け出を電子化したほか、社内共有文章も社内チャットでやり取りする等、ペーパーレス化を推進しています。

環境教育を年に3回以上実施する

今年度も、地球温暖化問題を中心にSDGsに関する勉強会を行いました。また、同業者の法令違反による許可取り消しの事例をもとに勉強会を行い、法令違反をすることのリスクについて社員全員で共有する事ができました。



地域の自然と環境維持活動



2024年:16回
2023年:16回

美化活動とアドプト活動

社員が毎月行う環境美化の取り組みとして、会社敷地内の整備や草刈り、側溝清掃などの美化活動を毎月行いました。また今年度もアドプト活動として、近隣公園の草刈りを実施したほか、地元老人クラブと合同でガードレール清掃、社員の健康増進も兼ねたゴミ拾いウォークラリーも実施しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





13. 環境目標・実施結果、CO₂排出抑制・廃棄物の再資源化活動

(1) 活動目標(2022年4月1日～2024年3月31日)

(水使用量と化学物質使用量は減少傾向であり、使用量のモニタリングとする)

項目	実施項目	2022 年度		2023 年度		2024 年度	
		原単位（目標）	原単位（実績）	原単位（目標）	原単位（実績）	原単位（目標）	原単位（実績）
排出原単位削減 (処理)	(生産管理部) 処理量 1tあたりの CO ₂ 排出量の削減 作業の効率化。設備入替時は以前より 高効率や低燃費の物、又は動力が電気 の物に交換する。	0.0662	0.0572	0.0660	0.0609 ※1 0.0343 ※2	0.0600	0.0608 ※1 0.0185 ※2
排出原単位削減 (運搬)	(営業管理部・リサイクル部) 運搬量 1tあたりの CO ₂ 排出量の低減 運搬効率の向上。車両の入替又は増車 時は、全車両又は同クラスの平均平均 燃費より低燃費の車両やハイブリット 車にする。	0.0460	0.0465	0.0458	0.0509	0.0510	0.0550
収集運搬・中間処理時事故ゼロ	事故ゼロ／月を目指し、 乗務員教育や KY 活動を行う。	目標 0 件	実績 7 件	目標 0 件	実績 4 件	目標 0 件	実績 4 件
適正処理・リサイクル推進	リサイクル可能な処分場への搬入を 推進し、自社排出量の 80% 以上を リサイクルする。	80%	95%	80%	97%	80%	96%
能力の向上	社員各自のスキルアップのため、 外部講習・研修を年 20 回以上行う。	20 回	20 回	20 回	55 回	20 回	58 回
法令順守	初期教育及び環境教育を含め、 法令順守に必要な環境教育を 年 3 回以上行う。	3 回	2 回	3 回	3 回	3 回	3 回
地域の自然と環境維持	地域の自然と環境維持のため、 美化活動と地域環境活動・アドプト 活動を年 12 回以上行う。	12 回	12 回	12 回	16 回	12 回	16 回

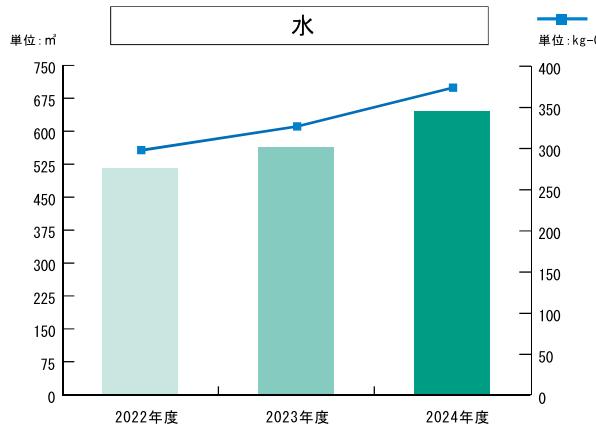
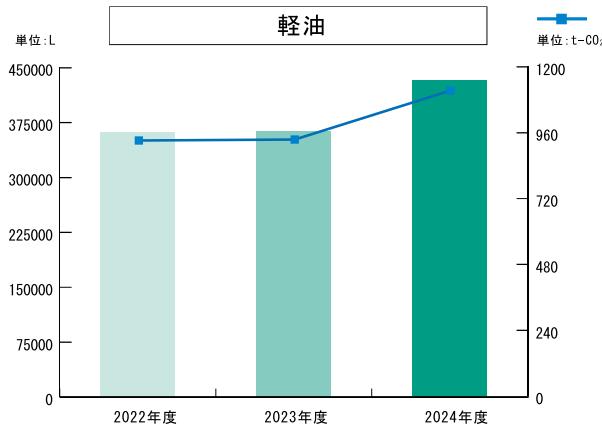
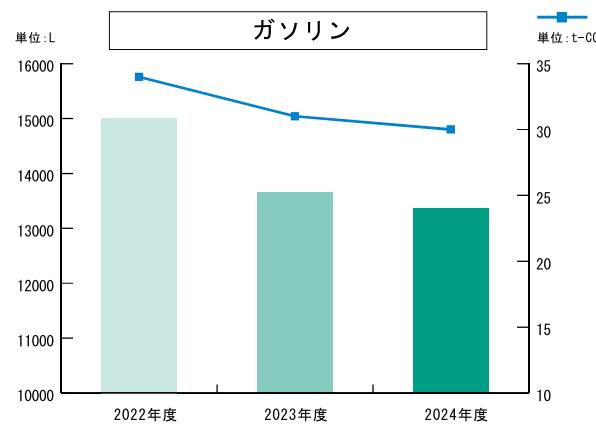
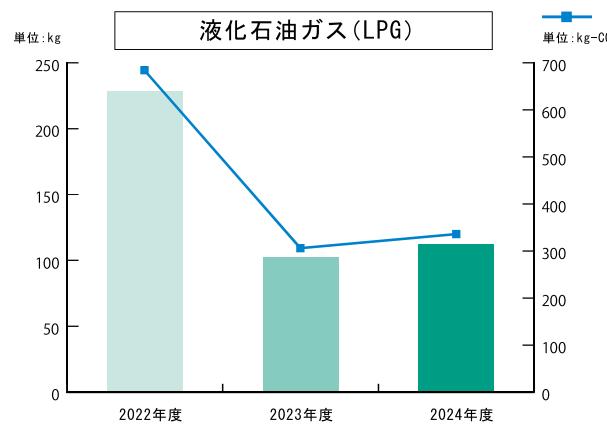
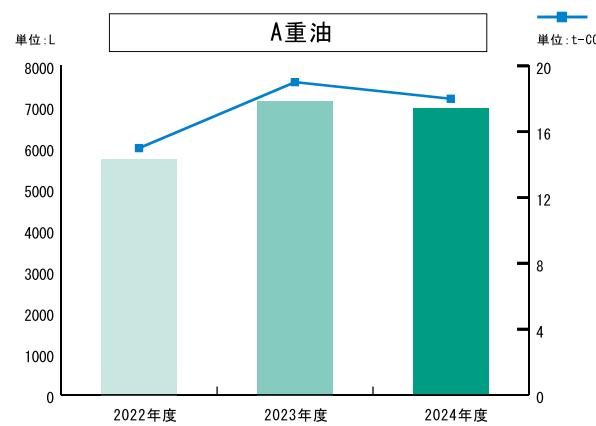
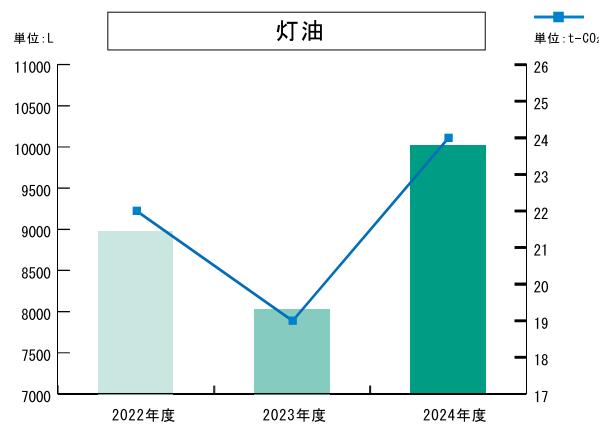
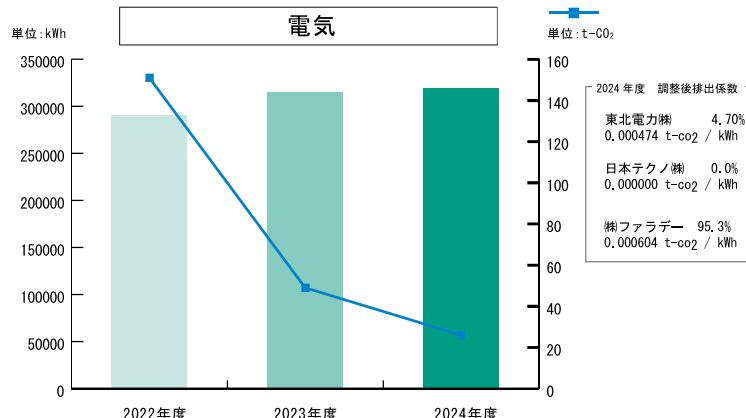
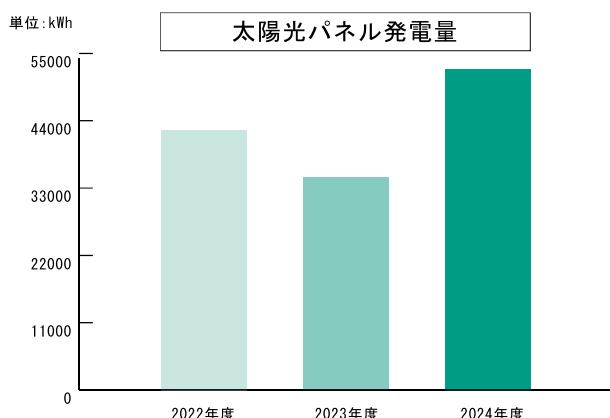
※1 全ての使用電力の CO₂ 排出係数を従来の係数で算出した予測値を基に算出※2 使用電力の一部を CO₂ 排出係数ゼロメニューで算出した実測値を基に算出

(2) 2024年度実施目標・結果

項目	実施目標	実施結果	評価
・営業管理部 排出原単位の削減	新規顧客の獲得	CO ₂ 排出量に対して運搬量を増やすべく新規顧客獲得へ向け営業を 実施。目標をクリアできた。	○
・環境リサイクル部 排出原単位の削減	実車距離を伸ばす	実車距離を伸ばすために効率的な配車及び、片便ルートの帰り便につ いて営業を行った。近いルート同士を結合するなど、配車を工夫 することで目標実車率はクリアしているが、新規案件獲得について は達成することができなかった。	△
・生産管理部 作業効率の改善	処理量を増やす	2 基の破碎機で各品目ごとの負荷の調査を行ったところ、特定の組 み合わせで負荷が大きく上昇することが分かったため、一方の破碎 機で高負荷のものを破碎する際はもう一方の破碎品目を調整するこ とで使用電力の平準化を行い、目標をクリアできた。	○



14. 環境負荷実績



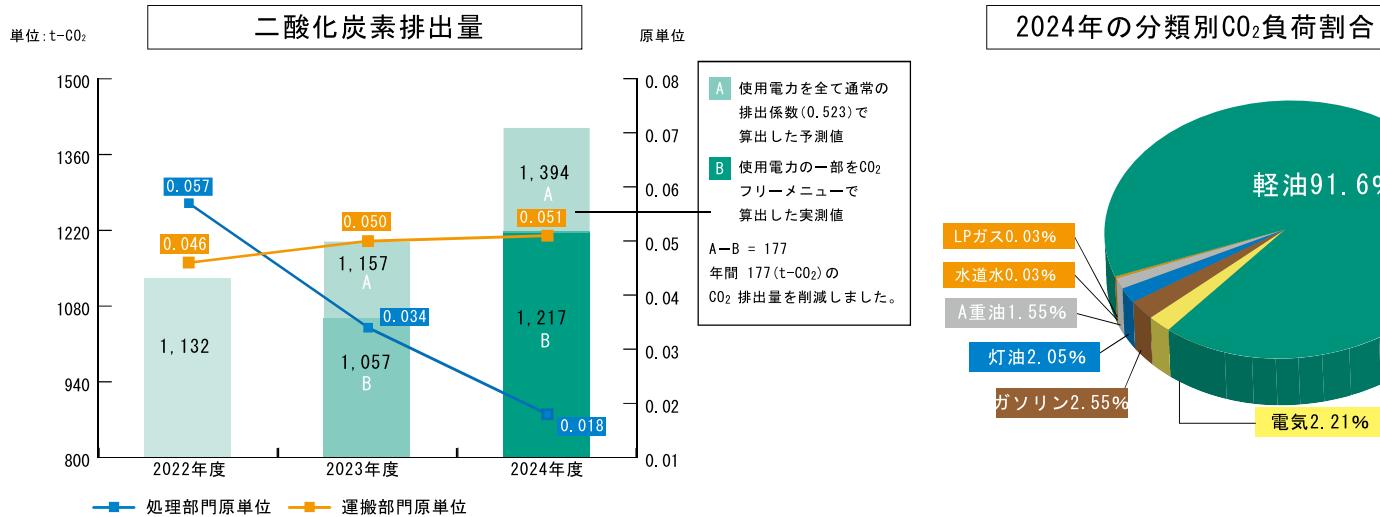


15. CO₂ 排出抑制・廃棄物の再資源化活動

CO₂ 削減目標

2022年度は作業効率改善に取り組み原単位削減目標を設定しました。

2023年度から使用電力の一部をCO₂フリーメニュー(CO₂排出ゼロ)で契約しています。





17. 社内活動

健康経営優良法人認定

安全衛生委員会



健康経営優良法人では、本年も「中小規模法人部門プライト500」の認定をいただきました。

仕事を続けていくうえで、健康こそが最も重要な資本であると考え、従業員の健康と長く働く職場づくりに取り組んでおります。

安全衛生委員会 運動を通じた健康づくりの取組

岩手県スポーツ振興事業団のご指導のもと、ポートボールというバスケットボールに似たスポーツで汗を流しました。ポートボールは平均年齢の高い当社社員でも安全に楽しめるルールで、運動の楽しさを実感することができました。

この機会を通じて日頃の運動不足に改めて気づかされました。上司、部下問わずコミュニケーションの輪が広がり、非常に充実した時間を過ごすことができました。



フードパントリーへの寄付 環境管理委員会



インクルいわて様主催のフードパントリーというイベントへ参加し、食品や日用品を寄付しています。この食品や日用品は、必要とされる方への配布やインクルこども食堂で使用していただいております。

インクルいわて様の活動に賛同し、ほんの少しでも社員の気持ちが届けられるよう、取り組みを続けております。

食品などが配布されている写真やお礼状をいただくと、参加してよかったです。

環境管理委員会 アドプト活動

利用者が気持ちよく使えるように、年3回、里親となった「おくたま親水公園」での草刈活動を行っています。

川や水路に囲まれた親水公園は、法面も含め刈る面積は広いのですが、社員の協力で見る見るうちに整えられていく様子は何度見ても気持ちが良いです。



ガードレール清掃 環境管理委員会



毎年、地元の天ヶ森老人クラブの皆様方と共同で近隣のガードレール清掃を行っております。

高圧洗浄だけではなかなか綺麗にはなりませんが、老人クラブの方々に拭き取り作業をしていただくと、ガードレールが見違えるほど綺麗になります。

清掃を行った後の綺麗なガードレールの道を地域の方々が走っているのを見ると達成感を感じることができます。



健康経営への取り組み

チームウェルビー



月1度を野菜の日とし、減塩弁当や地元野菜中心の弁当、感染予防が必要な時期には免疫力アップを手助けする飲料や果物の配布など、従業員の食生活改善への取り組みを行っています。

また、健康増進を目的とした特定保健用食品専用冷蔵庫の設置や、熱中症対策飲料を構内の自動販売機で安価で購入できるようにしています。

環境管理委員会

危険薬品研修

当社は化学薬品を扱う作業や、それらが含まれる廃液を扱うため、毎年1回、薬品が人体に及ぼす影響や緊急時の対応を学びます。

本年も扱う頻度の高い薬品の危険性や、薬傷時の対応について情報共有したほか、ピラニア溶液（硫酸と過酸化水素水を混合した液）に飴玉と布切れを入れる実験を通して、どのような反応をするか、また危険性について学びました。



救命講習

防火管理委員会



一関東消防署の方を講師に招いて、社内全体で救命講習を行いました。心肺蘇生の手順やAEDの使い方を、実技を通して指導していただき、救急車が到着するまでの間の応急手当を身に着けることができました。事故や災害に直面した際、誰かの助けになれるように、今後も継続して行つていきます。

安全運転委員会

安全運転講習

安全運転意識の向上を目的として、社内で車両の日常点検講習を実施しました。自動車メーカー様のご協力をいただき、専門家目線での日常点検に必要な正しい手順や、現場で役立つ実践的なスキルを学ぶことができました。また、普段運転業務に従事しない社員にも普通乗用車の点検方法を指導したこと、社員全員の安全意識を高めることができました。



障害者施設との連携



障害者支援するために「一般社団法人やさいサラダ」様と連携し、電子機器の解体業務の一部を委託しています。

また、「指定障害者施設ふじの実学園」にはバッテリーの絶縁作業を委託しています。

今後も連携を取りながら、働く場の提供に協力していきます。



18. 2024年度法遵守状況

産業廃棄物処理施設 廃プラスチック焼却炉 第1工場

		法規制	公害防止協定	自主基準値	測定値	単位
排ガス	ダイオキシン類	5	5	0.5	0.24	ng-TEQ/m³
	ダスト濃度	-	0.15	0.1	0.044	g/m³
	硫黄酸化物	-	1.99	0.05	0.00075	m³/h
	窒素酸化物	-	180	110	79	volppm
	塩化水素	-	700	25	1.3	mg/m³
洗煙水	ダイオキシン類	100	-	50	48	pg-TEQ/L
作業環境	ダイオキシン類	-	-	A測定	0.066	pg-TEQ/m³
	ダイオキシン類	-	-	B測定	0.074	pg-TEQ/m³

有価物処理施設 フィルム焼却炉 第2工場

		法規制	公害防止協定	自主基準値	測定値	単位
排ガス	ダイオキシン類	-	-	0.1	0.00087	ng-TEQ/m³
	ダスト濃度	-	-	0.1	0.045	g/m³N
	硫黄酸化物	-	-	0.1	0.016	m³N/h
	窒素酸化物	-	-	110	80	volppm
	塩化水素	-	-	30	6.2	mg/m³N

金属回収処理施設 排ガス洗浄スクラバー 第1工場

		法規制	公害防止協定	自主基準値	測定値	単位
排ガス	塩化水素	-	-	10	0.1未満	mg/m³N
	硝酸	-	-	7.5	0.2未満	mg/m³N
	硫黄酸化物	-	-	0.8	0.2未満	mg/m³N
	窒素酸化物	-	-	7	1未満	volppm
	アソニア	-	-	2.5	1.7	mg/m³N
地下水	総水銀	-	0.0005	-	0.0005未満	mg/L
	硝酸性窒素	-	10	-	2.8	mg/L
	アソニア性窒素	-	-	-	0.05未満	mg/L
土壤	水銀又はその化合物	-	0.0005	-	0.0005未満	mg/L

※弊社は工場排水を排出しておりません。第1・第2工場においては生活排水のみになります。第3工場の排水は車両洗車での水で、油水分離槽で処理したものです。

※環境法令違反・訴訟等はありません。

貴金属回収処理施設 排ガス洗浄スクラバー 第2工場

		法規制	県条例	自主基準値	測定値	単位
地下水	ジン化合物	-	不検出	-	不検出	mg/L
土壤	ジン化合物	-	不検出	-	不検出	mg/L
作業環境	ジン化水素	-	-	A測定	0.3	ppm
	ジン化水素	-	-	B測定	0.3	ppm

産業廃棄物積替え保管施設 第2工場

		法規制	県条例	自主基準値	測定値	単位
地下水	ジン化合物	-	不検出	-	不検出	mg/L
	鉛	-	0.01	-	0.002未満	mg/L
	六価クロム	-	0.05	-	0.005未満	mg/L
	総水銀	-	0.0005	-	0.0005未満	mg/L
土壤	ジン化合物	-	不検出	-	不検出	mg/L
	鉛又はその化合物	-	0.01	-	0.002	mg/L
	六価クロム化合物	-	0.05	-	0.005未満	mg/L
	水銀又はその化合物	-	0.0005	-	0.0005未満	mg/L

産業廃棄物処理施設 破碎機 第3工場

		法規制	公害防止協定	自主基準値	測定値	単位
作業環境	騒音	-	-	A測定	87.7	dB
	騒音	-	-	B測定	96.1	dB

排水

		法規制	公害防止協定	自主基準値	測定値	単位
第1工場	SS	200	-	40	0.1未満	mg/L
	COD	160	-	15	2.3	mg/L
	BOD	160	-	10	0.5未満	mg/L
第2工場	SS	200	-	40	11.0	mg/L
	COD	160	-	10	2.0	mg/L
	BOD	160	-	10	0.6	mg/L
第3工場	SS	200	-	40	1.0	mg/L
洗車場	COD	160	-	15	1.5	mg/L
	BOD	160	-	10	0.5未満	mg/L

主要な環境関連法規等

○環境基本法 ○地球温暖化対策の推進に関する法律 ○特定工場における公害防止組織の整備に関する法律 ○公害等に関する法律(ダイオキシン、大気、水質、土壤汚染) ○化学物質に関する法律(毒物劇物、PRTR、危険物) ○岩手県生活環境保全条例 ○フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 ○使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 ○廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ○個人情報保護法、他

※内部監査の際に遵守状況を確認し、問題ありませんでした。



19. 代表者による評価及び見直し結果

[環境経営方針] [目標・経営計画] [EMSその他の要素]

- 変更の必要性は無し

[環境経営取り組みおよび運営に対する指示]

- 決定事項、指示事項を必ず遂行するルールの徹底と仕組みを構築すること。
- 環境教育の機会を増やす。また、決めたルールと同じ感覚で共有するために動画や実践研修を実施する。速度や騒音の感覚を同一にするための実地研修、動画マニュアルの作成など。
- タイムカードの打刻漏れに対し、根本的改善策を考える。要因分析と対策計画は、主旨とずれがないかを徹底的に考える。
- 最低2~3か月に一度セキュリティ教育をすること。パート従業員等へも業務に応じたレベルの教育を実施すること。
- 情報セキュリティのインシデント発生における、報告経路と承認者を明確にすること。また、インシデントを判断できるように事例とレベルのルール作成をすること。
- マネジメントシステムの基本的な講習を開催し、全社員に向けた教育をすること。また数年後を見据えて、内部監査は各部次長以下の部員が監査をうけることとし、仕組みを知るきっかけを与え教育をすること。
- モニタリング全体の正確性を期すための取り組みをする。モニタリングだけではなく、他の数値管理も正しく把握する仕組みをつくる。運搬部門において、一運行あたりの排出係数を削減するため、車両や地域を特定した具体的な対策や営業を試み、その改善を継続する。
- HDDなどの情報資産に関連する破壊作業一連の見直しを継続する。
- 年内にスコープ3の把握をする。全社として脱炭素の取組計画と数値管理を行う。

[総括]

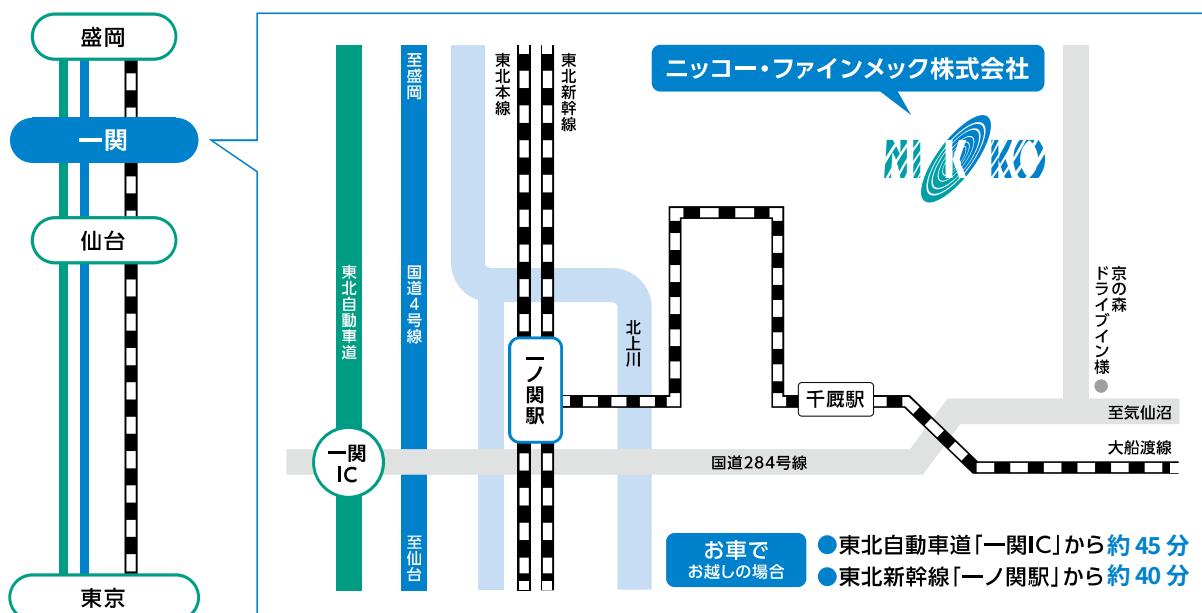
環境管理委員会では、当社の事業が環境直結であることから、通常業務における改善についても管理してもらっています。通常業務における、是正が発生した場合、迅速な対処が必要です。これを長く放置するということは、また事故が起きてもおかしくない状況を放置することに繋がる事業継続の危機です。

規程には全て何日以内に処理をすることと決まっており、それを「まあまあ、忙しい中でがんばってくれているのだから」などという緩い空気は絶対に排除しなければなりません。

残業をしてでも、通常業務に優先してでも考えなければならない場合があります。その重要な管理を担っているということを、大変重責ではありますが、委員会の皆様にはご理解いただきたいと思います。(判断や責任は役員ですが、管理は委員会の業務です。)

4月には、全国的なネットワークを強化するため、エコスタッフジャパンに加入しました。より良いリサイクルサービスを東北に提供したいという想いと、廃棄物処理業として社員教育のレベルを上げていきたいことも理由の一つです。こちらについても、各委員会と連携して計画、実施してください。

今期もスタートしますが、事業としては中盤です。新工場の立ち上げについては、新たに住民のご理解を得なければなりません。そのためにも今以上のサービス品質の向上、そして皆さんの挨拶と笑顔、身だしなみと行動が、今後ご理解を得ていくための重要なファクターです。今期も積極的な活動をよろしくお願ひします。



環境・地球 21世紀の創造企業

ニッコー・ファインメック株式会社

〒029-1111 岩手県一関市千厩町奥玉字天ヶ森75-6

TEL. 0191-56-2601 0800-800-2604 (通話料無料)

FAX. 0191-56-2619 <https://www.nikkofm.co.jp/>

